

印刷業界の未来を担う人材の育成を ～「印刷営業講座」を実施～

山梨県印刷工業組合

山梨県印刷工業組合（山内幸雄理事長 組合員41社）では、厚生労働大臣認定の技能審査である「印刷営業士」の資格取得を目的に、6月12日～7月3日にかけて延べ4日間の「印刷営業講座」を実施した。

「印刷営業士」とは、印刷業界の営業担当者としての基本的知識から印刷と関連が深いデジタルメディア、売上や利益管理、マーケティング、プレゼンテーション等、幅広い印刷営業の知識や技能を習得する人材を目指す資格である。ITの進展により広告媒体の多様化やデジタル化等の大きな変革期を迎えている印刷業界は、これまで顧客からの依頼を待つ受注型営業が主体であったが、様々な媒体が生まれている近年、顧客への積極的な提案型営業や顧客の経営課題を解決していくソリューション型営業を行っていく必要がある。

今回の講座は、座学だけではなくチームごとに得意先を想定したプレゼンテーションを考え発表するなどグループワークを通じた実践的な体験を行うことにより、資格取得が今後の営業の場で確実に活かせるよう工



グループワークの成果発表の様子

夫されたカリキュラムである。参加者からは、「顧客ニーズに応える印刷物の作成に試行錯誤していたが、その手がかりを掴めそうな気がした」「上司の言葉の意味を理解することができた」というものから、「他社の従業員と情報交換ができたことで、今後の自社の仕事に活かすことができる」との意見も聞かれた。

山内理事長は、「企業は人なり。優秀な人材が顧客満足を創り、それが会社の利益に繋がり、その利益が従業員に還元できる。今回の講座が、組合員企業、ひいては印刷業界全体の好循環を生み出すきっかけになってもらいたい。」と、業界の未来を担う人材育成への想いを語ってくれた。